



CO2削減のための国際会議で、アメリカ、カナダとならんで名指しの批判をうけた福田首相。多くの国が一致していたCO2削減の具体的な目標を決めることに反対したからです。(「しんぶん赤旗」07年12月15日付)

「COP13 妨害3人組」
インドネシア紙に意見広告

会議の最終日、ジャカルタ・ポストに掲載された意見広告(アバズ・ポストに掲載)

「アサドゥア(パリ)」「中村秀生」目標

がなければ、世界的な災害がすぐにやってくる。世界は屈服しない——当地で開催中の国連気候変動枠組条約締約国会議(COP13)が最終盤をむかえた十四日、インドネシアの英字紙ジャカルタ・ポストに、米国のブッシュ大統領、日本の福田康夫首相、カナダのハーパー首相の顔写真と「声」の意味を込めて、国際合意を妨害する三國を批判する意見広告が掲載されました。会場で広告を掲げる人の姿も見られました。

意見広告(写真)は、タイタニック号を思わせる船に三氏が乗り込み、温暖化で氷山が解けるのを待っているかのような構図です。「私たちは、米、国とカナダ、日本に対して(温室効果ガス)排出削減の目標を阻むことをやめるよう強く求めるとともに、ほかの国に対してこれ以上の譲歩を拒否するよう強く求める」というメッセージが添えられています。

国際政策研究グループ「アバズ(ヒンディー語、ウルドゥー語など)の意」が、掲載直前の二十四時間、百七十八カ国、五万三千三百三十九人が賛同しました。

AVAAZ.ORG

STOP

地球温暖化

CO₂排出
の8割

企業・公共部門にメスを

家庭や個人のがんばりも大切だけど、大企業が減らさないとCO2削減はすすみません。

ところが日本では、まったくの経済界まかせ。

だから、減るところか逆にふえています。

大企業にちゃんと責任をはたさせることができるかどうか——いまこそ政治のリーダーシップが問われます。



www.jcp.or.jp